

## R7 岡山県在宅医療推進協議会において、調査票についていただいた御意見

資料 1-2

|         | 御意見                                                             | 対応方針                                                                           | 理由                                                                           |
|---------|-----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 対象      | 医療機関用調査の対象を全医療機関とする方がよいのではないか。                                  | 対象を全病院、全有床診療所及び無床診療所は在宅療養支援診療所、在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料をそれぞれ算定している施設のみとする。    | 在宅医療の4つの場面の1つである退院支援の部分を把握するために、追加する。                                        |
|         | 現状だと、在宅療養支援病院と在宅療養支援診療所内の有床診療所のみでの退院支援の状況となるので、全医療機関を対象としてはどうか。 | 県内の全病院と全有床診療所を対象とする。                                                           | 同上                                                                           |
| 項目追加    | 歯科医療機関のように、将来に向けた訪問診療の意向を取りいれた方がよいのではないか。                       | 御意見のとおり、医療機関調査票に取り入れる。                                                         | —                                                                            |
| とりまとめ単位 | とりまとめ単位を市町村単位としてはどうか。                                           | 可能な限り、市町村単位とする。                                                                | 人口規模の小さな市町村の場合、個人情報特定される恐れもあるため。（設問によっては、保健所単位等、特定されない可能な限りの細かい単位でとりまとめを行う。） |
|         | 医療機関の個票を市町村等に提供してはどうか。                                          | 今回の調査の趣旨から、各医療機関の個票を市町村に提供することは難しいと考えている。調査結果等を可能な限り、市町村単位でとりまとめ、結果を各市町村に提供する。 | —                                                                            |
|         | 調査結果のフィードバックは、どのように行う予定か。                                       | 結果は、報告書としてとりまとめ、当課ホームページや各関係団体等にお渡しする。                                         | —                                                                            |